

□・BASF
We create chemistry

唯一の系統*で 幅広い害虫から果実を守る

※有効成分クロルフェナビルは、殺虫剤分類13に唯一属します。

■ 登録作物が多い ■ 幅広い害虫種に優れた効果 ■ 同時防除に最適



スグリゾウムシ



スグリゾウムシの被害



カネタタキ



カネタタキの被害



チャノキイロアザミウマ



ミカンサビダニ



チャノホコリダニ



ヨモギエダシャク

難防除害虫に効く

殺虫剤分類 13

コテツ[®]フロアブル

® = BASF社の登録商標

適用害虫と使用方法 *本剤及びクロルフェナビルを含む農薬の総使用回数制限を示す。

かんきつ版

コテツフロアブル

有効成分:クロルフェナビル…10.0%
毒性:医薬用外劇物

| 作物名 (適用場所) | 適用害虫名 | 希釈倍数 または使用量 | 使用液量 (ℓ/10a) | 使用時期 | 使用* 回数 | 使用 方法 |
|------------------------------|--|-----------------|-----------------|--------|-----------|----------|
| かんきつ | ヨモギエダシヤク、ハスモンヨトウ、 リュウキュウミカンサビダニ、 カナタタキ、スグリゾウムシ | 2000~4000 | 200~700 | 収穫前日まで | 2回 | 散布 |
| | アザミウマ類(ネギアザミウマを除く)、 チャノホコリダニ、ミカンサビダニ | 2000~6000 | | | | |
| みかん (温室・ガラス室等 密閉できる場所) | ミカンキイロアザミウマ | *1 300mℓ/10a | 10 | | | 常温 煙霧 |

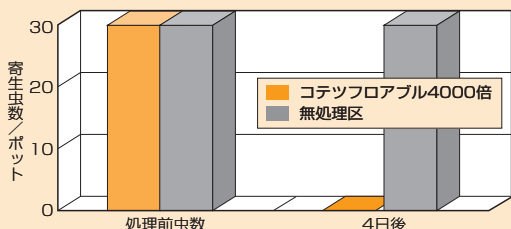
*1 使用量 太字の箇所は2020年8月26日現在、適用拡大事項。

その他の登録作物

りんご・もも・ネクタリン・おうとう・ぶどう・かき・なし・いちじく・小粒核果類・キウイフルーツ・マンゴー・ゴレンシ・ブルーベリー・あずき・豆類(未成熟)・きゅうり・うり類(漬物用)・すいか・にがうり・かぼちゃ(日本かぼちゃ)・トマト・ミニトマト・なす・ピーマン・とうがらし類・キャベツ・ブロッコリー・茎ブロッコリー・カリフラワー・メキャベツ・非結球メキャベツ・なばな・はくさい・非結球あぶらな科葉菜類・だいこん・かぶ・みょうが(花穂)・みょうが(莖葉)・いちご・ねぎ・オクラ・レタス・モロヘイヤ・あしたば・やまのいも・やまのいも(むかご)・かんしょ・はすいも(葉柄)・さといも・さといも(葉柄)・アスパラガス・ふき・ふき(ふきのとう)・てんさい・セルリー・にんじん・みつば・みしまさいこ・コリアンダー(葉)・エンサイ・やなぎたで・つるむらさき・しゅんぎく・しょうが・葉ごぼう・すいぜんじな・よもぎ・葉にんにく・つわぶき・せんきゅう・とうき・たらさき・はまぼうふう(葉)・うど・ほうれんそう・さんしょう(果実)・とうもろこし・ヤングコーン・食用プリムラ・食用金魚草・食用なでしこ・食用エキザカム・食用せんいちこう・食用トレニア・食用パンジー・食用ミニパワ・なんてん(葉)・茶・食用ぎく・きく(葉)・花き類・観葉植物・しきみ・アザレア 等

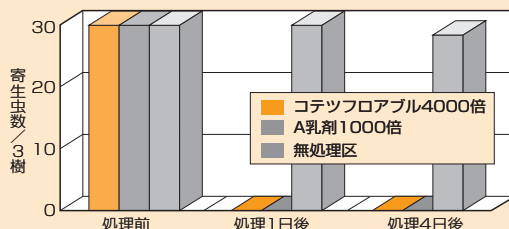
日植防委託試験成績

スグリゾウムシ



愛媛県農林水産研究所果樹研究センター
品種:宮川早生温州、樹齢:5年生、ポット植栽
処理日:2010年7月24日(果実肥大期) 500mℓ/ポット

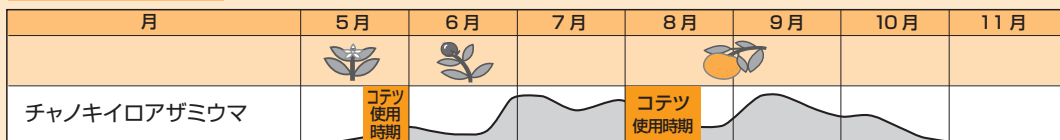
カナタタキ



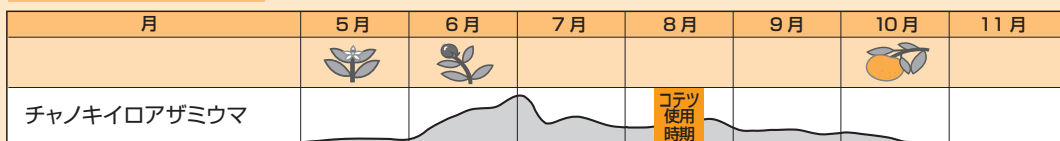
徳島県立農林水産総合技術支援センター 果樹研究所
品種:すだち、樹齢:4年生、ポット植栽
処理日:2010年9月14日 0.7ℓ/樹

コテツフロアブルの使用例 幅広い害虫種に効果を示すので、同時防除に最適です。

愛媛(2014年)温州みかん 対象:チャノキイロアザミウマ、ミカンサビダニ、チャノホコリダニ、カナタタキ 使用時期:5月下旬及び8月上旬



和歌山(2014年)温州みかん 対象:チャノキイロアザミウマ 使用時期:8月中旬



静岡(2014年)温州みかん 対象:チャノキイロアザミウマ 使用時期:7月上旬



熊本(2014年)温州みかん 対象:チャノキイロアザミウマ 使用時期:7月中旬



効果・薬害等の注意(抜粋)

- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にしてから所定量を取り出してください。
- ハダニ等の常温煙霧に使用する場合は、以下のことに注意してください。
 - ① 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
 - ② できるだけ日中の煙霧はさけ、夕刻から煙霧し、6時間以上密閉状態にしてください。
- ボルドー液と混用する場合は凝集することがあるので、本剤を調整した後にボルドー液と混合してください。
- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合せ調整してください。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しの少ないように葉の裏面に十分に散布してください。
- 周辺の作物にかかることと薬害を生じる場合があるので、かからないよう十分注意して散布してください。
- 畜に対して影響があるので、周辺の畜舎にはかからないようにしてください。
 - ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかけられないようにしてください。
 - ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- マルハナバチに対して影響があるので注意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 散布等の作業の際は、防護マスク・手袋・不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は手足・顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 直射日光をさけ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。



水産動植物(魚類・甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

- ★ 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ★ ラベルの記載以外には使用しないでください。
- ★ 小児の手の届くところには置かないでください。
- ★ 使用後の空容器等は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- ★ 防除日誌を記帳しましょう。

※この資料は2020年8月現在の知見に基づき作成したものです。

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>



詳細はWEBでも
ご覧いただけます

2800002 3
202008(SA)